

そのゴルフ界は今、2025年問題と向き合っています。一方では国民の健康意識の高まりや医療技術の進歩によって、健康寿命が延びています。ゴルフの果たす役割が、ますます重要になってくるでしょう。歳を取ると基礎体力が低下して、重いクラブを振るのが辛くなる。ですから我々は、より高性能な炭素繊維を開発して、クラブの軽量化や飛距離の維持向上に貢献したい。長くゴルフを楽しめるよう素材開発で支えていきます」

アドウェル  
富山皖社長

2017年設立、

ガラスコーティング剤『ハドラス』  
を業界に広める

「起業する前は大手クラブメーカーに長年勤めてましたが、以前からの業界の『ゆでガエル』体質が気になっていて、一例としてECの台頭があります。当時から専門店はECに顧客を取られる心配がありました。が、現実にはそうじゃなかった。なぜなら店に足を運ぶ必然性が弱いからですよ。

## SPECIAL FEATURE



この問題を解決するには、来店を目的とする商材を確立すること。フイティングも然りで、モノではなくコトを売る。『ハドラス』はそこに合致しました。

このガラスコーティング剤をクラブやシューズに施工（塗布）すると、使用中のギアも輝きを取り戻し、耐久性も増す。当初は一部のショップから『新品が売れなくなる』と言われましたが、SDGsの世の中で物を大事にする意識も高まっています。その施工を販売員がしてくれる。技術料だから利益率も高い。2017年から積み重ねて年間施工50万件、10億円の市場に成長しました。

販売店のECサイトでもやっています。購入画面でクラブと一緒に『ハドラス』を選択してカートに入れると、店から施工済みクラブが送られてくる仕組みです。ところがなかなか選択されない。やっぱり、ヒトが目の前で熱心に説明しないとダメな商材なんだと、改めて思った次第です。

2025年問題の今年は『ゆでガエル』から抜け出さないと。異業種の知恵を積極的に学ぶことも大事ですが、ゴルフ界から他業界にゴルフならではのモノ・コトを持ち込んで、

商機をつかむことも大事でしょう。チタンやカーボンがゴルフ業界で有用性が証明され、他業界に広がりましたから。

昔は自動車メーカーがクラブメーカーに、キャディバッグの大きさを聞きに来たんですよ。トランクに入らないと売れ行きに響くから。それぐらい影響力がありました。今年『ハドラス』を通して他業界に影響を与えられる取り組みを考えています。他業界で役立てればゴルフ業界で働く人も誇りをもてる、この業界が憧れの業界になると思うのです」

## 海外の市況が 中古にも及ぶ

えびすや

岩瀬文平社長

中古2店舗、EC2店、

東南アジア輸出も

「今年には東南アジア向け中古クラブの輸出が激しくなりそうです。バンコクの日本人向けカラオケ店が密集するタニヤ通りに、タイ最大のゴルフショッピングモール「タニヤプラザ」がありました。これが改装してテナント料が上がり、多くの店が撤退した。